

第6回 第3次東員町行財政検討委員会会議録

1. 開催場所	東員町保健福祉センター 大会議室
2. 開催日時	平成24年 3月 8日(木) 午後 1時30分 開会 午後 4時30分 閉会
3. 出席委員 (敬称略) 出席幹部	岩崎恭典 酒谷宜幸 阿久根チサエ 川杉美津江 馬場順子 三浦信一 種村拓夫 毛利次郎 藤田昌義 伊藤郁子 伊藤英也 中村宗和 総務部長 町政戦略室長 政策情報課長 建設産業課長 課長補佐及び係長 (欠席: 総務課長)
4. 内 容	<p>1. 委員長挨拶</p> <p>2. 第5回東員町行財政検討委員会の会議録について 第5回の会議録についての内容確認及び今回の会議の協議事項についての確認。</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 補助団体の事業内容について</p> <p>東員町商工会</p> <p>委員長 : 町の入札を町内業者に限る事はできないと思いますがいかがですか。</p> <p>商工会会長 : 安ければ良いという現状では、健全な事業をおこなうための利益がほとんどないという問題があります。</p> <p>建設産業課長 : 物品については、おっしゃる通り最低価格は設けておりません。町内業者で調達できるものは指名しております。工事等については、指名は町内業者を指名しております。一般競争となりますと、他市町からの業者も入りやすいしくみをとっております。こちらについては最低制限価格を設けております。業務委託については、最低制限価格を設けておりませんが設けるべきだと考えております。</p> <p>委員 : 町外業者が落札した場合、下請けに町内業者を使うという条件を付けることは可能ですか。</p> <p>建設産業課長 : 下請けの指定まではできません。</p>

	<p>委員 : わかりやすい資料を作っていただいています、会員の事ばかりで顧客の事が何も書かれていません。安くなるというのはこれからもっと安くなると思います。大きい企業が入ってくると、地元業者より2割も3割も安い値段で出してくれます。消費者としては1銭でも安い方が良く、業者は1銭でも多く稼ぎたいと考えます。現状の自分達の事だけが書かれていますが、対応する消費者についてどのように認識していますか。</p> <p>商工会会長 : 商工会の立場で考え、いかに商工会員が儲けられるか考えています。</p> <p>委員 : ボイラー修理のときに、地元業者に頼みました。次に本社に聞いたところ地元業者の半額でした。</p> <p>商工会事務局 : 住まいの相談会というのを立ち上げております。何かございましたら商工会に電話をいただければ、適切な業者へ連絡をするというシステム作りをしておりますので、今後はそういった所をお使いいただくとお値打ちにできるかと思えます。</p> <p>委員 : PR不足ではないですか。折角やっても活かされていないと思います。</p> <p>副委員長 : 業者の品質の確保をどうしていくかというものも併せてアピールしていかないと、実際の安心には繋がらないと思います。</p> <p>商工会事務局 : 第三水曜日の例会で、現状の報告や今後について話しております。</p> <p>副委員長 : 苦情等はありませんか。</p> <p>商工会事務局 : 今のところ苦情はありませんが、値段で折り合いがつかないときに断るということはあります。</p> <p>委員 : 先程会員のためにとの事でしたが、商売は顧客があつての事です。商工会が町内業者にどういった付加価値をつけてPRしていくかという事が絶対に必要だと思います。</p> <p>委員 : 消費者が決定権を持っていますから、同じ規格のものであれば安い方で購入する。価格競争では破れてしまいますから、付加価値を付けていく方向しかないと思います。</p> <p>委員 : 地元商店がなくなるというのは、本当は非常に困ります。高齢となり車を運転できなくなると、買い物をしに行けなくなるので、地元業者に頑張ってもらわないと困ります。</p> <p>委員 : 東員町単独ではなく北勢地域を一本にするとい</p>
--	---

	うような考えはありますか。
商工会会長：	北勢地区7つの商工会が集まった北勢広域連合が一緒になってやっております。
委員長：	広域連合という事なので緩やかな連携ですね。
商工会事務局：	点と点を結んで線にするだけではなく、面としていきたいというのが方針です。
委員長：	面というのはどういう事ですか。
商工会事務局：	商工会は異動しているからこそ、町外の状況がわかります。
商工会事務局長：	企業マッチング事業というので、わざわざ遠いところに頼んでいる業者があれば、もっと近いところにこんな業者があると紹介できます。
委員：	東員町だけではカバーできない部分を他市町からカバーできるか、東員町だけで見ていて良いのかと考えました。
委員：	東員町商工会と広域とでは別次元の問題だと思っています。広域一本だけにすると東員町のような小さな商工会は潰れていってしまうと思います。町に商工・観光のセクションがないので、バックアップしていただきたい。
委員：	地産地消をする場所が完備されないと、特産品を作っても売れる場所がありません。行政指導の責任で、一つの欠点だと思っています。北海道ではコールセンターを設置し商工会等全部わかるようになっている自治体があります。東員町では、色々な事があると色々な所へ聞かないといけません。一つの例として、観光商工の町のバックアップ体制は絶対作ってほしいと思います。
委員：	実際に商工会会員からの最も多いニーズは何ですか。それに対応する人材はありますか。
商工会会長：	事業承継について真剣に取り組んでおります。経営指導員や専門員で対応しています。
委員：	福利厚生費、福利環境整備費とはなんですか。親睦旅行は今の時代に良いのかと思います。
商工会事務局：	福利環境整備費は補助対象職員の退職金積立、福利厚生費はそれ以外の一般職員の退職金積立です。従業員旅行やボーリング大会というのがありますが、補助金とは全く別で、会員が会員のためのもものとして分けてあります。
商工会会長：	会員を繋ぎとめるためにも、会員同士の親睦を深めるためにも必要であると考えています。

	<p>委員長 : 平成24年度からの特産品開発事業については、一部を改装して調理場を作るような形ですか。</p> <p>商工会事務局 : 調理場やそれらを展示する場所や喫茶コーナーも出来れば良いかと思っています。</p> <p>委員 : 開発は業者が作るのではないのですか。</p> <p>商工会会長 : 最終的にはお任せする事もできますし、創業していただいても良いですし、その方の自由です。研究・開発する場所を作りたいと思っています。</p> <p>商工会事務局 : 県のやっているインキュベーターのような感じですか。</p> <p>委員長 : 400万円というのは商工会の負担ですか。</p> <p>商工会会長 : 予算要望400万円のうち100万円を町から補助をいただくと回答いただきましたが、より多くいただけるよう陳情いたしております。</p> <p>副委員長 : 収支を見込みながら、どういう風に回収していくので町にどのくらい負担して欲しいという話があって然るべきだと思いますので、設備投資の予算書だけでは町も見えない部分があって、適切な負担を量りかねているのではと思います。</p> <p>商工会事務局 : 町からも、もっと具体的な収入支出の予算、計画の詳細を求められていますので、現在作成しています。</p> <p>委員 : 食材は町内のものを使ってください。</p> <p>副委員長 : 簡単にいくものではないとは言え、税金を投入するものですので、期待を込めた部分も含めて計画はしっかり作っていただいて、実際数字が出なくても、どのくらい経済効果があったかや、どういう活性化が起きたという事をきっちりしていけば、ちゃんと評価されると思いますので、まず入口部分は重要ですのでその辺り頑張ってくださいと思います。</p> <p style="text-align: center;">東員町観光協会</p> <p>委員 : どういう人が発起人となって観光協会が設立されたのですか。</p> <p>観光協会会長 : 宮司さんや自治会長が、町には観光部署がないことや、祭りを盛り上げるためと聞いております。</p> <p>委員 : 流鏝馬保存会と関係はあるのですか。</p> <p>観光協会会長 : 全く関係ありません。</p> <p>委員 : 一番の欠点は、観光を職業にしている人がいない事だと思います。もう一つは、観光資源となる</p>
--	---

種がないことです。どこの観光地をとっても、古いものにしがみつくのではなく、新しく自分達で作っています。もう一点は、東員町には宿泊施設がありません。大きな事業をしようとしても、宿泊施設がないためにできない事があります。これから考えていくべき点だと思います。大社祭は村の祭という色彩が強いと思います。観光の目玉としてイベントを作らないと仕方ないと思います。コスモス畑は有名になってきましたが、毎年場所が変わる事が欠点です。

観光協会を設立して補助金を出していますので、行政の責任だと思います。体育館やグラウンドや文化センターを持っていますから、十分に發揮するために観光協会に指導すべきだと思います。人数が少ないから存在価値がないとは思いません。使命感をもって観光の目玉を作れるものはあると思いますから、もうひと工夫して欲しいと思います。

委員 : 観光の目玉として大社祭を挙げていますが、観光協会が大社祭に関われるのですか。

観光協会会長 : 大社祭にお客様を呼んで盛り上げるために応援をしているだけです。

委員 : 伊勢神宮は伊勢の観光協会に関われるかという点と難しいでしょうし、大社祭は大社祭として純粋性と宗教性をきちっとやっていただきたい。それに付随するものは考えられた方が良いでしょう。東員町の観光に人が来るかというのは、町民全体が理解して発信しないと人が来ないと思います。町民の意識の掘り起こしというのは観光にとって大事ですので、一度考えていただきたいと思います。行政の方は、きちっとした指導と観光に対する考え方を示すべきだと思います。

委員 : 北大社地区は1棟1万3千円徴収して祭をやっております。観光協会が携わっていただいているのは、ポスターやのぼりで発信していただいています。町が歩こう会をやっていると思いますが、観光協会と組んで、史跡・神社・仏閣含めて協力し合ったらどうかと思います。大社祭はたった2日間です。これを中心に他のこともやって、幅広く見ていった方が良いでしょう。

委員 : 昔は大社祭の日は学校が休みで、そのくらい力

	<p>が入っていましたが、町がバックアップしないとイベントもイベントでなくなると思います。</p> <p>委員 : 観光というのは町内の人ではなく町外の人にお金を落とさせるよう、お考えいただきたいと思います。</p> <p>委員 : 団地の方はメインストリートはわかりますが、それ以外は知らない人が多いと思います。</p> <p>委員長 : 地域の方に親しんでいただける協会を目標に書いていただいているように、長年地域に住んでいるのに地域の事がわからないという人に、きっちり知ってもらい、それが町外の人や観光に繋がっていくと思います。</p> <p>副委員長 : 前回、各事業をどういう振り返りをしているかという資料提供をお願いしていたのですが、具体的に出ていなかったという事と関連しますが、誰も否定しない内容ですが全て抽象的で具体的でないので、どう踏まえていくか見えません。一方で町の補助が半減され、会員の増強と併せて急務となっているのに、この回答で大丈夫かと心配になっています。削られた事業費をどのように組み立てられるのかお聞かせいただけますか。</p> <p>観光協会会長 : マス掴み大会に500人程来ていただいている分と、会員になるメリットは何があるかと言われますので、観光協会会員にアンケートを取り、何が望まれているかご意見をいただき、会員増強に繋がりたいと思っています。</p> <p>建設産業課長 : 120万円であった補助を60万円という事で予算計上しておりますが、中部公園が賑わっている状況の中で、シルバー人材センターをお願いしている管理を観光協会にお願いしようと思っています。そのお金が観光協会に入りますので、補助金は60万円としております。平成23年度までコスモス畑や流鏝馬も町からの委託という形でしたが、平成24年度からは補助金の形を取ります。</p> <p>委員 : 笹尾城山では観光協会そのものを知らない人がほとんどです。大社祭も知らない人多く、もっとPRしていただかないといけないと思います。観光協会の名前でツアーを組んで回ったりすると、観光協会の名前も売れてくると思います。</p> <p>委員 : 蛇足ですが、観光という意味をもう一度考えていただきたい。観光というのは光を観ると書きま</p>
--	--

	<p>す。光を観るということを考察いただきたい。</p> <p>委員 : 最近の若い人は山へバーベキューをしに行きます。員弁川の河川敷を利用してできないかと思っています。</p> <p>委員長 : 建設産業課との話で、員弁川では無理ということですが、他の場所等で検討したいと思います。</p> <p>委員 : 観光協会は実際に動かれる方はボランティアとしますので、それがないと動けないと思いますので、やはり町のバックアップが必要だと思います。</p> <p>委員長 : 人件費を賄うという意識は欲しいと思います。ボランティアの志は素晴らしいですが、ただで動く人は減っていくと思いますので、お金を支払える仕組みは必要だろうと思います。</p> <p>(2) 東員町シルバー人材センター及び東員町社会福祉協議会への提言について</p> <p>委員長 : 前回提言案を作らせていただきましたが、ここはもっと強くとか、具体的な文言修正があれば事務局へお伝えいただきたいと思います。商工会は毛利委員、観光協会は藤田委員に提言のまとめをお願いしたいと思います。</p> <p>副委員長 : お二人が皆さんの意見を取りまとめている訳ではありませんし、お話しいただいた意見を箇条書きで結構ですので、お二人が材料にできるように情報提供いただきたいと思います。</p> <p>委員長 : 10日程度で議事録を提供いただき、意見等をまとめて事務局へ提出してください。次回はこれまでのまとめを行い、次々回には体育協会・スポーツ少年団・フレンドリークラブのスポーツ関係3団体と文化協会に事業説明をお願いしたいと思います。次回は4月16日の午後1時30分からという事をお願いいたします。</p> <p>閉会 午後4時30分</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--